

## 新興金型製作所

「納期半分になる」  
「一週間でさと百件余りの引き合いかきた。入れ子の部分だけを取り換えるため、金型交換時間の短縮や製作費の削減、納期の短縮などに役立つ。

時計、電機部品製造用の「納期は半分になる」と竹内義昭専務は言いつける。竹内社長は「カセット式による発想は他業界では普通かし、それを製品化して外販するメーカーが少なかつたためだ」と説明する。ス盤は刃物になり、「二十一年」による設計システムは、宏氏(資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

ビック(本社東京、社長竹内宏氏、資本金五百万円)を通じて発売したユニット金型は十ヶ月から系列の新興セル

## 発想変え「カセット」に 入れ子部分のみ取り換え

# 金型 イノベーション



氏写真  
社長竹内宏

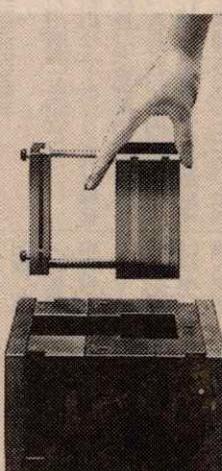
用しなかつた。MCを使い一時に使ってみたら、入出力に

入れるとほぼ一日中運転し

変わらなかつた(竹内社長)

入れ子の支持方法を変えて成形機の影響をうけない

ようにしたユニット金型



会社データー  
都品川区旗の台三ノ一四ノ  
五。●03  
・795・  
7800。  
社長竹内宏

資本金八百万円。従業員十四人。年間売上高二億円。工場

II本社。事業内容 IIプラスチックなど各種金型の設計製

作、合成樹脂成型加工、金属加工など。

# 日経産業新聞

発行所 日本経済新聞社  
東京本社 〒100-66 (03)270-0251  
東京都千代田区大手町1-9-5  
振替口座 東京 3-555番  
大阪本社 〒540 (06)943-7111  
大阪市東区京橋前之町1-1  
振替口座 大阪 2-73217番  
西部支社 〒812 (092)473-3300  
福岡市博多区博多駅東2-16-1  
振替口座 福岡 1-1248番  
名古屋支社 〒460 (052)322-2561  
名古屋市中区正木2-3-1  
振替口座 名古屋 3-6149番  
札幌支社 〒060 (011)281-3211  
札幌市中央区北1条西7-3  
©日本経済新聞社 1987

メークに外注している。竹内社長は「従来はコストタクシング」といっても金型一個当たりではわずかしか引き下がらないため、ドンブリ勘定で対応しているのが業界では普通だつた」と振り返る。

「出した時期が良かったから」と竹内社長はみる。「田高にならなければ注目されなかつたと思う」。社長自身は「製造の限界を感じる」という

もの、まだまだ金型に使えたと想う。社長自身は「製造の限界を感じる」という

「これがいい」という。金型業界は戦後、第一次石油危機と六十年からの円高によるアイデアの発掘に余念はない。近いうちに再び新製品を直接取引しているほか、五十一年からは受注した仕事は設立だ」と説明する。(福山敬太記者)

が、最近はユーティリティが内製化を進めていくようだ。韓国、台湾、香港などでも毎週火曜日に掲載